

製品名: Nrf1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21142**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:54kD;Observed MW:68kD

抗原情報

遺伝子名	NRF1
別名	NRF1;Nuclear respiratory factor 1;NRF-1;Alpha palindromic-binding protein;Alpha-pal
遺伝子 ID	4899.0
SwissProt ID	Q16656
免疫原	ヒト NRF1 の合成ペプチド

背景

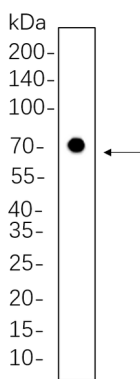
細胞局在: 核。この遺伝子は、ホモ二量体を形成し、細胞増殖を制御する主要な代謝遺伝子、ならびに呼吸、ヘム合成、ミトコン

ドリア DNA の転写および複製に必要な核遺伝子の発現を活性化する転写因子として機能するタンパク質をコードしている。このタンパク質は、神経突起伸展の制御にも関連している。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。この遺伝子は、公式の記号が NFE2L1 である「核因子 (赤血球由来 2) 様 1」と NRF1 という共通の記号を使用しているため、文献データベースにおいて混乱が生じている。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Nrf1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。